

霊峰栗駒山に通じる
 浄めの滝、古道、そして霊水。
 栗駒町（栗駒山麓）

◎探訪ねる 水と山

特集
 時代とともに
 県政だよりで振り返るみやぎの歴史

みやぎ 県政だより

MIYAGI
 PREFECTURE
 NEWS

10月

毎月1日発行
 平成14年10月1日
 第391号

発行◆宮城県総務部広報課 〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号 ☎022(211)2111(内線2283) URL <http://www.pref.miyagi.jp/kohou/> 印刷◆仙台印刷工業団地協同組合



第1回 こども県政だより

いろんなぎもんをナンダロウちゃんとハテナちゃんが楽しく解決!

ペットボトルのリサイクル

ナンダロウくん ジュース、全部飲んじゃった。このペットボトル、捨てちゃおうっと。

ハテナちゃん そういえば、ペットボトルはほかのゴミと分けて捨てるよね。どうしてなのかな。調べてみようよ。

ペットボトルのゆくえ

スタート → **市町村**（おうち） → **リサイクルする会社**

おうちでペットボトルを出す → 市町村で集める → ペットボトルをつぶす → ペットボトルを洗う → フレークを溶かして、糸へ → フレークを溶かして、型に入れる → 完成!（ボールペン、ハンガーなど）

わあ。いろいろなものにリサイクルされているんだ。

そうね。このペットボトルも、リサイクルされてまた私たちの所にくるかもしれないんだね。

行ってみよう!

みなさんが出したペットボトルや缶は、地域のリサイクル施設で種類ごとに分けられてリサイクルされます。次の施設では、ゴミのゆくえやリサイクルの流れについて、展示室を見学したり施設を見学することができます。

仙台市葛岡リサイクルプラザ（仙台市）
 ☎ 022 (277) 8573（展示室見学）

大崎広域リサイクルセンター（古川市）
 ☎ 0229 (28) 1756（施設見学）

取材協力／様々（掲載可）

「昭和45年、そして今」

この県政だよりが創刊された昭和45年、私は22歳でした。大学を卒業して、社会人になった年。職場は厚生省です。最初に配属されたのは、公衆衛生局防疫課でした。初任給は3万円未満でしたが、根無し草のような学生気分を断ち切れたことに、ほっとしたのを思い出します。仕事を通じて世のため人のために貢献する実感が持てたことも、うれしい誤算でした。

新米役人時代、「目立ってやろう」というほどの意識はありませんでしたが、役人らしい役人にはならないぞという意気込みは強く持っていたようです。先輩、上司にとっては、扱いにくい存在だったかもしれません。しかし、その時の心構えが、30年以上経った今に続いているという実感があります。

昭和45年からの時間の流れを思います。新幹線が開通し、東北自動車道が完成しました。ハード面だけではなく、宮城県は大きく変わりました。必ずしもいい方向にだけの変化ではなかったかもしれませんが、美しい自然、温かい人情、豊かな文化と伝統、こういったものの真髄はしっかりと残っていることには、ほっとします。

振り返って、私自身のこの間の変化を思います。22歳の若さは失われましたが、あの頃の熱い思いはまだ消えていないことは実感できます。世の中の不条理に挑戦する姿勢、変革を恐れない心意気、こういったことに關しては、青春真っ只中かもしれません。

これまでの30年間、そして、これからの30年間。良いものは残しつつ、変わってはいけないものは確実に残していきたいものです。宮城県も、そして、私自身も。

宮城県知事 浅野史郎

声の県政だより
県では、視覚に障害がある方のために、点字またはカセットテープによる県政だよりをお届けしています。点字は昭和四十六年、「声の県政だより」は昭和四十九年から行っていて、現在、九百名の方々にご利用いただいています。



言葉を正しくはっきり伝えることを心がけているという宮城朝読奉仕会の方による録音



時代とともに

これまでも、そしてこれからも

1970年代幕開けの昭和45年、県民の皆さんに、県政をよく理解していただくために、広報紙「みやぎ県政だより」が誕生しました。

70年代は、公害が社会問題化し、減反、石油危機、200カイリ問題など時代が大きく揺れ動いた時でもありました。

このような中、宮城県では、仙台港の開港、東北新幹線や東北自動車道の開通など東北新時代へと着実に歩みを進めてきました。

今回は、ペンと写真で時代を切り取ってきた「みやぎ県政だより」でみやぎの歴史を振り返ります。

昭和45年

◀昭和45年、県民総参加の県政を目指して、みやぎ県政だよりが発行されました。(昭和45年4月号)



昭和46年7月に開港した仙台港
(「宮城県の百年」より)

東北の海の夜明け

昭和四十六年七月、仙台港が開港しました。明治初期の野蒜築港計画が台風などで挫折して以来、およそ百年後の東北の海の夜明けとなりました。平成十三年四月には、特定重要港湾に昇格し、東北最大の国際貿易港として重要な役割を果たしています。

昭和46年

県政百年を迎えて

昭和四十七年は、明治五年に宮城県が誕生してからちょうど百年を迎え、皇太子同妃両殿下をお迎えして記念式典が行われました。



「最近の増築で全国有数の施設となった県立松尾公園をご視察、手足の不自由な子どもたちを慰問、激励された(昭和48年1月号)」

昭和47年



「半世紀の歴史を刻んだ県庁舎。八月の一般参観が最後の雄姿となった(昭和61年12月号)」

サヨナラ県庁舎
『昭和六年九月に完成以来、半世紀以上にわたって激動の昭和を県民とともに歩んできた県庁舎(昭和六十二年九月号抜粋)』最後の雄姿として、八月九日から十一日まで一般参観が行われました。

昭和61年



新幹線 23日 出発進行

新幹線「出発進行」
昭和五十七年六月、宮城に新時代の到来を告げる東北新幹線が開業しました。『県では、これを機会に宮城の良さを全国にPRしようと、「絵はがき作戦」や「ふれあい運動」など多彩な事業を繰り広げることになっています。(昭和五十七年八月号抜粋)』その東北新幹線も、今年で開業二十周年を迎えました。

(昭和57年6月号) 昭和57年



「料理の時もムダをはぶき、賢いママさんに…(昭和54年7月号)」

家庭でできる省エネルギー
昭和四十八年の石油ショック以来、家庭や職場で省エネルギーのためのいろいろな工夫を進めてきました。昭和五十四年には、石油危機再燃をきっかけに省エネ対策が見直されました。
『六月から県内のガソリンスタンドも日曜日・祝日にはほぼ一斉に休業しています。また政府も深夜テレビの自粛などを打ち出しました。(昭和五十四年七月号抜粋)』

昭和54年



青空をいつまでも 大気汚染の監視網を整備

公害が社会問題化
昭和四十五年頃から、公害が大きな社会問題としてクローズアップされました。『大気汚染から住民の健康を守るため、県は四十六年度から常時観測網の整備を進めてきました。(昭和四十九年七月号抜粋)』

(昭和49年7月号) 昭和49年



「未来の東北博覧会 独眼竜政宗公の勢いをそのまま受け継いで大勝利に終わる。入場者数は目標の1.5倍、297万人(昭和62年12月号)」

東北新時代
『昭和六十二年は、大河ドラマ「独眼竜政宗」の放映などもあり、大変な観光ブームが巻き起こりました。また、七月十八日から開催された「未来の東北博覧会」は、予想を上回る入場者でにぎわい、まさに「東北新時代の夜明け」にふさわしい年になりました。(昭和六十二年十一月号抜粋)』

昭和62年



タイヤチェーンの装着実演(平成59年1月号)

脱スパイク

昭和五十九年、県ではスパイクタイヤ公害を防ぎ、快適な生活環境を守るため、スパイクタイヤの使用を自粛運動に本格的に取り組みはじめました。また、昭和六十二年には、スパイクタイヤ対策条例も施行されました。

昭和59年



「5月～6月の異常低温に加え、8月23日、全県下を襲った台風15号により、農作物は大被害を受け、ことしも実り少ない秋となった(昭和56年12月号)」

実らぬ秋
昭和五十五年は、戦後最悪の冷害となりました。この異常気象は、水産業や商工業にも打撃を与え、県民生活に大きな影響を及ぼしました。冷害は翌年以降も続き、四年連続で実らない秋となりました。

昭和55～58年



(昭和49年8月号)

県政映画招待席

昭和四十二年頃から県政映画を作って映画館などで上映してまいりました。『この映画は、四十七年七月、在宅心身障害児(者)とお母さんのこいの場としてオープンした「セツ・希望の家」の生活をのぞいたものです。(昭和四十九年八月号抜粋)』

昭和49年

- | | |
|---|---|
| <p>昭和45年(1970) 台一、八一九千人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本万国博覧会 ●日航機「よと号」ハイジャック事件 ●減反米の生産調整 始まる ●県民の森オープン <p>昭和46年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●仙台港開港 <p>昭和47年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●札幌冬季オリンピック ●沖縄返還 ●連合赤軍浅間山荘事件 ●仙台空港にジェット旅客機就航 ●宮城県制百年 <p>昭和48年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●石油危機 <p>昭和49年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●三菱重工ビル爆破事件 <p>昭和50年 台一、九五五千人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ロッキード事件 ●仙台市電営業終了 <p>昭和51年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漁業専管水域「百カリ」に ●新幹線沿線全線開通 ●新幹線開業 <p>昭和52年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宮城県沖地震 ●東北自動車道県内全線開通 <p>昭和53年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●戦後最悪の冷害 <p>昭和54年 台二、〇八二千人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●戦後最悪の冷害 <p>昭和55年(1980)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日航機羽田沖墜落事故 ●東北新幹線大宮～盛岡間開業 <p>昭和56年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●女川原子力発電所試験運転開始 <p>昭和57年 台二、七六六千人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日航ジャンボ機墜落事故 ●伊豆沼・内沼ラムサール条約指定 <p>昭和58年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●八・五豪雨災害 <p>昭和59年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国鉄分割・民営化 ●中国吉林省と友好県省に ●未来の東北博覧会開催 ●仙台市地下鉄南北線開通 <p>昭和60年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●阿武隈急行全線開通 <p>平成元年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●消費税法施行 ●リクルート事件 ●政令指定都市仙台市誕生 ●新興行政庁舎完成 <p>平成2年(1990) 台二、二四八千人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●仙台空港に国際定期便就航 ●くろくま高原駅開業 ●全国高等学校総合体育大会「インターハイ」開催 <p>平成3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ひとめぼれ誕生 <p>平成5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サッカー「リーグ開幕 <p>平成6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第四十九回国民体育大会スキー競技会(みやぎ鳴子園地)開催 ●ブランドメル(仙台)現バカルタ仙台 発足 <p>平成7年 台二、三三八千人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●阪神・淡路大震災 ●地下鉄サン線事件 ●くろくま田園鉄道開通 <p>平成9年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●県立宮城大学開学 ●第四十八回全国植樹祭開催 ●国際ゆめ交流博覧会開催 ●アメリカ合衆国アラバマ州との姉妹県締結 <p>平成10年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●長野冬季オリンピック <p>平成12年(2000) 台二、三六五千人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●仙台空港第三ターミナル滑走路供用開始 <p>平成13年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宮城スタジアム供用開始 ●仙台東部道路、南部道路全線開通 ●イタリヤ共和国「ミナモト」県と友好姉妹県締結 ●第五十八回国民体育大会開催 ●第一回全国障害者スポーツ大会開催 | <p>●は日本国内の主な出来事</p> <p>●は宮城県内の主な出来事</p> |
|---|---|

お問い合わせ
広報課
022(221)2200
http://www.pref.miyagi.jp/kohou/
また、県では、今年から、一般の方から公募した広報「みやぎ」を、広く、県民の皆さんに、毎月アンケートにお答えいただきます。ご意見をいただくことになりました。

申し込み
郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望の県政だより「〇年〇月号」とエピソード等を記入し、あて先を明記した返信用封筒(角形2号)と百四十円切手を同封のうえ県広報課「みやぎ県政だよりプレゼント」係(980-8570住所不慮へ)十月三十一日(消印有効)までに応募ください。一通につき一件の希望とさせていただきます。返信用封筒は返却します。



思い出の「みやぎ県政だより」をプレゼント



(写真提供 (株)東北放送)

なつかしい! クイズ! みやぎ東西南北
「クイズ!みやぎ東西南北」は、昭和五十四年四月から平成八年三月までの十七年間放送された歴代の県政テレビ番組では最長寿記録!県政テレビ番組です。毎週土曜日の夕方五時三十分から三十分、県内の話題や各種県政情報をクイズ形式で紹介しました。クイズの解説者として、県の職員が出演することがありましたが、緊張して「チ」になり、思わずセリフが棒読みになってしまうことも、またクイズの回答者として、たくさんの方の皆さんにご出演いただきました。

高校の特色を生かした教育が進んでいます

～みやぎ高校教育「特色づくり支援プログラム」～

県では、生徒一人ひとりの個性を大切にした教育を進めるため、平成十年度から県立高校三十一校をモデル校に指定し、「みやぎ高校教育充実支援事業」を行っています。これは、「進路指導」「就職指導」「特色づくり」の三つのプログラムのなかから、それぞれの高校がその特色に合った分野を選び、独自の取り組みをしていくものです。今回は、その中から「特色づくり」に取り組む高校をご紹介します。

特徴に合った幅広い取り組み

「特色づくり支援プログラム」で指定された十二の高校では生徒のさまざまなニーズに応え、それぞれの生徒が生き生きとした高校生活を送るために、各高校やその地域に合った特色あるカリキュラムを設けたり、環境教育、国際理解教育、福祉教育、ボランティア教育などを積極的に取り入れています。

例えば、スポーツドクターや大学講師など外部講師の活用や幼稚園、小学校、養護学校との交流体験、福祉の体験学習、ボランティアによる奉仕活動、ニュージランド、中国との国際交流などにも取り組んでいます。

これらの取り組みが、生徒の生き生きとした体験や活動につながり、他の高校への刺激にもなっています。

●「特色づくり」に取り組む12の高校

1	蔵王高校	部活動単位でのボランティア活動	7	仙台東高校	「国際理解」に重点を置いた異文化体験学習や英語科の合宿など
2	柴田高校	体育科での取り組みを一步進め、スポーツのコンディショニング作りや、メンタルトレーニングのプログラム作成	8	利府高校	スポーツ科学科があり、外部講師を招き、スポーツ医学やスポーツ生理学の学習
3	伊具高校	社会人へインタビューをしたり、企業見学を行うなど卒業後の進路に重点を置いたプログラムを実施	9	鶯沢工業高校	「地域との連携」をテーマに、地元小学生向けのコンピュータ教室の開催やコンピュータ用教材ソフトの制作
4	名取北高校	教育情報の収集や、県外先進校の視察など、高校教育の改善に関する取り組み	10	石巻西高校	「国際社会に貢献できる人材に」を目標に生徒が主体となって国際理解のための委員会を運営
5	県農業高校	「地域との連携」をテーマに学校農場の開放や、地元の社会人講師を招いた学習	11	河南高校	農業科での成果を生かした「園芸セラピー」のほか、福祉、ボランティア活動
6	仙台向山高校	大学の研究所の訪問や教科を横断した授業など、一歩進んだ学習	12	飯野川高校	生活福祉科での授業を一步進めた、福祉施設での活動やボランティア活動

得意分野で地域と連携

県内で数少ないコンピュータの専門学科がある鶯沢工業高校では、その特性を生かして地元小学校との連携や地域の人々と交流を通じて学習を進めています。例えば、生徒が講師になり鶯沢町や栗駒町内の小学校でコンピュータ教室を開いたり、小学校の教科書をわかりやすく説明したコンピュータ用の教材ソフトの制作などを行っています。

指導にあたっている先生は「生徒たちは、事前準備はもちろん、本番の授業でも苦労をされていて人に教えることの難しさを感じていたようでした。しかし、自身自身の勉強にもなりますし、実習の成果を発表する場があることで、気持ちの入り方もずいぶん違っていました。こうした取り組みを通じて、地域とのつながりが深まっていますし、生徒が主体的に学ぼうという意識も強くなっていると感じています」と話してくれました。



鶯沢工業高校の生徒が制作した小学4年生向けの理科教材「電気のはたらき」



「話を聞いてもらえるようにするのが難しかったが、楽しく授業することができた(先生役となった鶯沢工業高校の生徒)」「やさしく教えてもらったので、思い通りに操作することができた(授業を受けた小学生)」と好評だったコンピュータ教室

お問い合わせ
高校教育課 0222(211)3665
<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>

「宮城のかき」はよみがえります

偽装表示の防止と再生に向けた対策を進めていきます

偽装防止対策

いよいよ本格的な「かき」のシーズンが始まりました。生産者が手塩にかけて育てたおいしい「かき」が店頭に並びます。しかし、過去に原産地の表示を偽ったかきが流通していたことがわかりました。県では、このようなことが二度と起こらないよう、生産から加工・流通・消費の全般にわたる防止対策を進めています。

「安心でおいしいかきを食卓へ」

清浄で豊かな海域という恵まれた自然環境の中ではぐくまれ、安心でおいしい「宮城のかき」が、主に生食用として年間約五千トン生産されています。

しかし、県の調査により、過去に、一部の仲買・袋詰め業者が、韓国産のかきを宮城県産と表示を偽装して出荷していたことが明らかになり、八月二十日に、その結果と対策を公表しました。

県ではこの問題を、人間の生活の根幹である「食」にかかわる問題であると重く受け止め、再発防止と信頼回復に向け、次のような対策を実施していきます。

再生対策

- **生かき品質向上対策の強化**
生かきの生産・管理マニュアルにより、衛生・品質管理を徹底します。
- **衛生対策・小型球形ウイルス(SRSV)対策の強化**
SRSV発生メカニズムの解明や浄化する方法的の開発を進めます。
- **宮城県産かき 信頼回復緊急対策**
県内産かき信頼回復キャンペーン、フェスティバル等を開催していきます。



かき三知識

「かき」はグリコーゲンという栄養素を多く含み、「海のミルク」と呼ばれています。特に寒くなってからおいしさが増し、10月から3月までが主な出荷シーズンになります。宮城県のかき養殖の歴史は古く、今から300年以上前の松島までさかのぼるといわれています。技術の改良により漁場が広がるなど、主力養殖種目になり、広島県に次ぐ全国2位の生産をあげ、主に生食用として流通しています。また、本県は養殖用種かきの生産県としても有名です。

「宮城のかき」なんでもダイヤル
0222(211)2665
宮城のかきに関するあらゆるお問い合わせ、意見、苦情などをお受けします。
「宮城のかき」情報ホームページ
<http://www.pref.miyagi.jp/oyster/>
宮城のかきに関するさまざまな情報を積極的に公開、提供していきます。

現在「宮城のかき」は厳しい試練に直面していますが、関係者と協力してこれらの対策を確実に実行し、おいしい「宮城のかき」を食卓までお届けします。
生食で鍋物でフライでどうぞ安心して「宮城のかき」をお楽しみください。

大地から空まで まち全体が博物館

山元町では農村の生産と暮らしをテーマとして歴史や文化、自然環境など有形無形のあらゆる地域資源を「山元遺産」として認定し、大地から空まで町全体を「屋根のない博物館」に見立てて展示する田園空間博物館活動が行われています。

これまで八十回を超える住民主体のワークショップ活動を通じて、「泥田」「居久根」「水路」など身近な収蔵品がたくさん発見され、これらを活用した「田んぼの楽校」などの「企画展示」活動が展開されています。どの展示活動も町民の知恵や技が生かされていて参加した町内外の方々は、自然環境の大切さを感じ、地域への愛着を深めているようです。

昨年制作された、素山子

この活動の中心的な役割



野外ぐるりん友の会会長
斎藤正さん

を担っている
「野外活動ぐるりん友の会」会長
の斎藤正さんは「この活動を通して、都市住民との交流が活発になるなど、地元住民の活動の輪がどんどん広がっています」と話してくれました。

現在、博物館のガイドとなる「町民楽芸員」の養成が進められているほか、総合案内所となる中心施設「笠野学堂」の建設が予定されています。町民自らが「動き」「楽しみ」ながら、地域資源を掘り起こし、その魅力を生かした博物館づくりが行われています。博物館活動や友の会には町内外問わず、誰でも参加できます。

お問い合わせ ●山元町産業経済課
☎0223(37)1119

休耕田を利用して行われた「田んぼの楽校」



みやぎ

東・西・南・北

太鼓の響きが 結ぶ国を越えた交流

米山町の創作太鼓団体「米山丸山太鼓」は、昨年暮れから年明けにかけてイギリスのエクスター市を訪れ、現地の太鼓団体「影武者太鼓」との競演を行いました。また、六日間のホームステイも体験し、交流を深めました。

この交流のきっかけとなったのは、イギリスから米山町にA.L.T.(外国人語学教師)としてやってきたケビン・スライプさん。自ら丸山太鼓に入会するほど、和太鼓の魅力に心を奪われたケビンさんは、エクスター市の「影武者太鼓」を知り、両者の交流を提案しました。



「第二回和太

鼓フェスイバルINとめ」が十月二十九日に、登米祝祭劇場で行われることになりました。このイベントには、登米郡内の三つの太鼓団体も出演します。米山丸山太鼓会長の久保泰宏さんは「太鼓がきっかけとなって自分たちだけではなく、みんなを巻き込んだ大きな文化交流になつて欲しい」と夢を話してくれました。



お問い合わせ ●登米祝祭劇場
「第二回和太鼓フェスティバルINとめ」
☎0220(22)0111
「影武者太鼓」のホームページ
<http://www.kagemusha.com/>



蔵のまち・村田で 陶器市が開催

10月18日(金)～20日(日)の3日間「みやぎ村田町 蔵の陶器市」が開催されます。ここでは、村田町中心部の蔵屋敷などを活用して関東・東北各地の陶芸家が展示販売します。この陶器市は、その名の通り、「蔵の町並み」と「陶器」が調和して互いの魅力を更に引き出し、「みちのく宮城の小京都・村田」ならではの趣があります。また、地元の農産加工品や特産品の販売なども行われます。昨年に続き2回目の開催となる今年も、大勢の陶芸ファンでにぎわいそうです。ぜひこの機会をお見逃しなく！

☎みやぎ蔵の陶器市実行委員会
☎0224-83-2267
<http://www.murata.miyagi-fsci.or.jp/>



亘理伊達家ゆかりの 市町が交流サミット開催

亘理町では、伊達成実(伊達政宗の従兄弟)が亘理に入府してから今年で400にあたることを記念し、さまざまな事業を実施しています。その一環として、8月に甲冑を身につけた町民ら約300人が武者行列で町内を練り歩く「伊達な武者まつり」を行いました。また、11月6日(水)には亘理町中央公民館で、北海道伊達市をはじめ、県内外の伊達家にゆかりのある13の市町による交流サミットを開催します。各市・町長からそれぞれの地域の伊達家にまつわる話が紹介されるほか、記念講演などが行われます。参加は無料です。

☎亘理町企画課
☎0223-34-0505
E-mail watarich@poplar.ocn.ne.jp



やくらい高原マラソン

木々が紅く色付き始めるこの時期、やくらい高原に足を運んでみてはいかがでしょうか。今月27日に「第19回やくらい高原マラソン大会」が開催されます。例年300名ほどのランナーが参加し、最長10kmに及ぶコースを駆け抜けます。高原の美しい景色を楽しみながら熱い声援を送ってみてはいかがでしょうか。また、近くには「滝庭の関 駒庄」もあります。ここでは、そば打ち体験や食事ができるほか、機織伝承館では伝統的な機織と染色が体験できます。

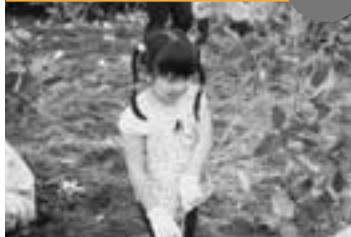
☎小野田町商工観光課
☎0229-67-2111



栗駒キッズカンパニー ～将来の起業家を目指して～

栗駒町商工会青年部では、子ども達が商品の企画、仕入れ、販売といった一連の商売の流れを体験しながら、社会の仕組みを学んでもらおうという「栗駒キッズカンパニー」に取り組んでいます。この事業には、町内の小学5、6年生77人が参加し、5つの会社を設立しました。子ども達は、10月19日(土)に栗駒町みちのく伝説館で行われる「ふれあいフェスティバル」への出店を目指し、子どもならではの工夫に満ちた商品を販売しようと会議を重ねています。大人にはないアイデア溢れる商品をあなたもご覧になってみませんか？

☎栗駒町商工会
☎0228-45-2191
<http://kids.kurikoma.jp/>



あなたも農業農村の 素晴らしさにふれてみませんか？

10月26日(土)に、北上川沿いに位置する登米町白根牛地区で、仙台市近郊及び迫町近郊の都市住民を対象とした「第3回農業農村の恵みにふれる会 in とよま」が開催されます。当日は、畑でにら、大根、白菜などの野菜の収穫体験ができます。参加者は毎年、抱えきれないほどいっぱいになった袋を持って帰ります。そのほかにも、地元でとれた食材を使った郷土料理を堪能する交流昼食会、野菜栽培農家の視察、みやぎの明治村と言われる登米町内の散策等、盛りだくさんの内容が予定されています。

☎宮城県土地改良事業団体連合会企画部企画調整班
☎022-263-5812
県産産業振興事務所農業農村整備部
☎0220-22-5169



股旅舞踊が競演

10月27日(日)、桃生町の町民総合センターで、「股旅演芸東北大会」が開催されます。この「股旅演芸」は、芸術文化の振興や各地域との交流を図ろうと始められ、今回で第4回目を迎えます。毎年、にぎやかな舞台が繰り広げられ、観客を魅了しています。今年も、地元石巻地域をはじめ、東北各地から、股旅舞踊愛好者約40組が出演します。また、特別アトラクションとして、前回大会での優勝者の演技が披露されます。当日は、午前9時30分開演、入場料は一般1,000円、中学生以下は無料です。

☎桃生町商工会
☎0225-76-3315



「海の三兄弟」をよろしく

歌津町の新しい特産品「海の幸めん 三色うどん」をご存知ですか。これは、歌津町が県の機関などの協力を得て開発したもので、歌津産のワカメ・ヒジキ・ホヤが麺に練りこまれているのが特長です。ワカメとヒジキは粉末状、ホヤはすり身にして小麦粉に練りこんであり、豊かな風味だけでなく、ワカメの緑、ホヤのオレンジ、ヒジキの薄茶の色彩も楽しめます。今年2月には宮城県水産加工品品評会で宮城県知事賞も受賞しました。豊かな海の恵みが生んだこの麺は、「海の三兄弟」という愛称がつけられ、歌津町の民宿やお土産品店などで販売されています。

☎歌津町漁業協同組合
☎0226-36-2002

霊峰栗駒山に通じる 浄めの滝 古道 そして霊水。

「行者滝」から栗駒山に向かって古い道が続いています。

苔むした森を抜けると「はらみ坂」と呼ばれる急坂があります。

昔、妊婦がこの坂を登った時

苦しい思いをしたのでそう呼ばれるようになったとか。

坂を登り切ると石積み塚があってここが巡礼の道だったことが知られます。

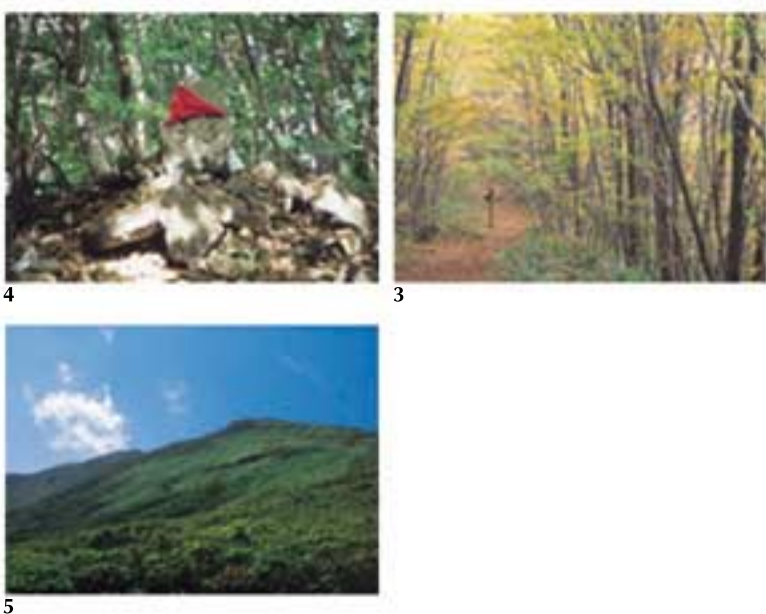
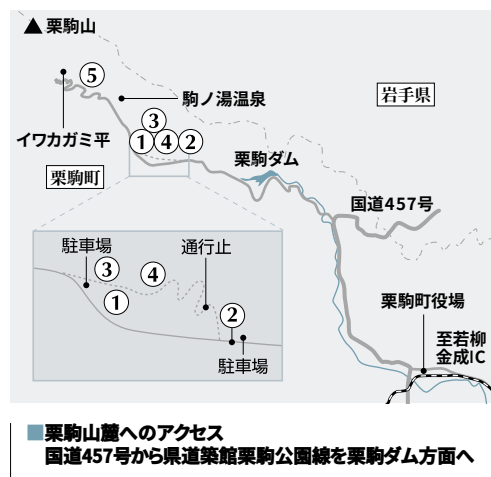
その頃の栗駒山は霊峰として名高く身重な人までも登ったのかと思うと

当時の人々の信仰の強さを感じざるを得ません。

その先にはフナやトチの森に囲まれた「金明水」があります。

苦難の末に辿り着いた巡礼者が

この霊水で元氣を取り戻し再び頂上をめざしたのでしょうか。



県職員給与

あらまし

給与決定のしくみ

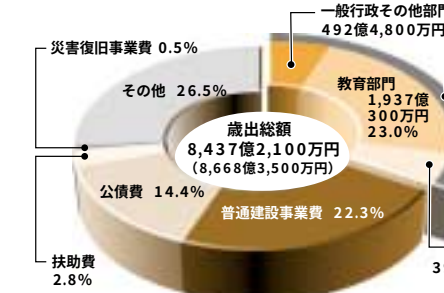
県職員の給与は、県人事委員会の勧告および国や他の地方公共団体との均衡などを考慮しながら、県議会の審議を経て条例で定めることになっています。

しかしながら、本県の厳しい財政状況を考慮して、平成十二年四月から二年間、給与の減額を実施してきましたが、さらに本年四月からの二年間についても引き続き減額することとしました。(表5)

特別職の報酬等

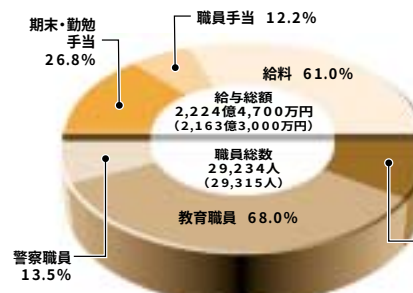
知事、県議会議長など特別職の報酬等は、県内各界の代表者で構成する「特別職報酬等審議会」の意見を聴き、一般職員とは別に条例で定めることになっていますが、一般職員と同様の理由で報酬等の減額を実施しています。(表1・表6)

図1 歳出総額に占める人件費の割合
(平成13年度普通会計決算)



※注1：()内は、平成12年度普通会計決算の数値を表す。
2：金額は、10万円以下を四捨五入したもの。

図2 職員給与費の状況
(平成14年度普通会計当初予算)



※注1：給与総額には、退職手当、共済費および特別職に支給される給料・報酬等は含まない。
2：()内は、平成13年度普通会計当初予算の数値を表す。
3：金額は、10万円以下を四捨五入したもの。

表1 特別職の報酬等の状況(平成14年4月1日現在)

区分	給料月額等	期末手当
知事	給料 1,130,500円	《支給月》6月期 1.45月分(2.05月分) 《支給割合》12月期 1.55月分(2.15月分) 3月期 0.55月分 計 3.55月分(4.75月分)
副知事	927,000円	《支給月》6月期 1.54月分(2.04月分) 《支給割合》12月期 1.63月分(2.13月分) 3月期 0.55月分 計 3.72月分(4.75月分)
出納長	837,200円	《支給月》6月期 1.54月分(2.04月分) 《支給割合》12月期 1.63月分(2.13月分) 3月期 0.55月分 計 3.72月分(4.75月分)
議長	報酬 978,500円	《支給月》6月期 1.54月分(2.04月分) 《支給割合》12月期 1.63月分(2.13月分) 3月期 0.55月分 計 3.72月分(4.75月分)
副議長	874,000円	《支給月》6月期 1.54月分(2.04月分) 《支給割合》12月期 1.63月分(2.13月分) 3月期 0.55月分 計 3.72月分(4.75月分)
議員	807,500円	《支給月》6月期 1.54月分(2.04月分) 《支給割合》12月期 1.63月分(2.13月分) 3月期 0.55月分 計 3.72月分(4.75月分)

※注1：期末手当については、上記支給割合から、さらに表6の削減率で減額措置が行われている。
2：()内は、平成13年4月1日現在の期末手当の支給割合を表す。
3：国及び他県の状況を踏まえ支給割合を引き下げるとともに、手当基礎額の算出方法を改めた。

表2 職員の初任給の状況(平成14年4月1日現在)

区分	宮城県	国	
		決定初任給	採用2年経過日給料額
一般行政職	大卒程度 177,772円	191,100円	174,400円
警察官	高卒程度 143,570円	154,546円	141,900円
小・中学校教員	大学卒 203,350円	221,186円	202,600円
高等学校教員	大学卒 163,562円	177,674円	160,200円
大学卒	198,450円	213,542円	195,300円
大学卒	198,450円	213,542円	195,300円

表3 職員の平均給料月額・平均給与月額および平均年齢の状況
(平成14年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	347,663円(342,981円)	425,226円(422,986円)	40歳10月(40歳6月)
警察官	376,786円(380,326円)	520,780円(534,581円)	42歳3月(42歳9月)
小・中学校教員	393,271円(387,111円)	442,406円(436,504円)	41歳9月(41歳5月)
高等学校教員	390,122円(386,218円)	455,701円(448,518円)	41歳11月(41歳11月)
技能労務職	338,877円(341,461円)	382,867円(387,583円)	47歳10月(48歳7月)

※注1：平均給料月額には、給料の調整額および教職調整額を含む。
2：高等学校教員には、特殊学校教員は含まない(以下同じ)。
3：平均給与月額は平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当、管理職手当、時間外勤務手当、職務教育等教員特別手当、特殊勤務手当等を加えたものである。
4：()内は、平成13年4月1日現在の数値を表す。

表4 一般職員の期末手当・勤労手当の状況
(平成14年4月1日現在)

区分	宮城県		国	
	《支給割合》	《支給割合》	《支給割合》	《支給割合》
《支給割合》	6月期 1.45月分	6月期 1.45月分	6月期 1.45月分	6月期 1.45月分
12月期	1.55月分(1.60月分)	1.55月分(1.60月分)	1.55月分(1.60月分)	1.55月分(1.60月分)
3月期	0.55月分(0.25月分)	0.55月分	0.55月分	0.55月分
計	3.55月分(3.30月分)	3.55月分	3.55月分	3.55月分

※注1：職制上の段階、職務の級等による加算措置 有 ※注2：職制上の段階、職務の級等による加算措置 有
※注：()内は、平成13年4月1日現在の各手当の支給割合を表す。

給与等の減額措置(平成14年4月1日現在)

表5 一般職員の減額措置の状況

給与種別	職位	削減率等
給料	課長級以上	2.5%(3.0%)
	一般職員	2.0%(2.5%)
管理職手当	部長級	20%
	次長級	15%
	課長級以下	10%

※注：()内は、平成13年4月1日現在の数値を表す。

表6 特別職の減額措置の状況

区分	削減率	
	報酬等	期末手当
知事	15%	30%(55%)
副知事	10%	15%(30%)
出納長	8%	12%(25%)
議長	5%	—
副議長	5%	—
議員	5%	—

※注：()内は、平成13年4月1日現在の数値を表す。

おきかせください あなたの声を
…知事への手紙…

ここにのりしろ②を貼り合わせてください。

知事さん、あのね…

宮城を愛する、あなたの夢のある提案をお待ちしています。また、知事へのメッセージや日ごろ県政についてお気づきの点などもお寄せください。
知事が目を通し、関係部課でも県政を進める上での参考とさせていただきます。

「県民の想いデータベースシステム」とは…
県に寄せられる意見・要望・提言・苦情等を集約整理し、分析するとともにインターネットで内容を公開するシステム。
県民の皆様のニーズを把握し、県政に反映させるため開発されました。



ここにのりしろ①を貼り合わせてください。

料金受取人
仙台中央局
承認
127
差出有効期間
平成16年3月
31日まで
(切手不要)

仙台市青葉区本町三丁目8番1号
宮城県知事行

9808790
514

※郵送の場合は外側の線をハサミで切り離し、こちらを表にして2つ折にした後、のり付けして封筒にしてください。

みやぎの
いいモノ発見
～夢メッセに行ってみよう!～

◎お問い合わせ
地域産業振興課
☎022(211)2721
<http://www.pref.miyagi.jp/chisan/>

食と技の競演
みやぎまるごと
フェスティバル

◎お問い合わせ
商業・流通課
☎022 (211) 2813
<http://www.pref.miyagi.jp/syogyo-ryutu/>

個別労使紛争の あっせん制度が スタート

◎お問い合わせ
労政・雇用対策課
☎022(211) 2771
<http://www.pref.miyagi.jp/rouko/>
地方労働委員会事務局
☎022(211) 3787
<http://www.pref.miyagi.jp/tiroui/>

する県内最大のイベントが開催される
●みやぎいいモノテクノフェア2002

●環境メッセ東北2002（十七日から開催）

● ロボットコンテスト2002

また、講演会やパネルディスカッション

みやぎのい

16の自治体と製造がはかる豊かな国を
みやきいいモノテクフェア
2002

●期日 十月二十六日、二十七日（両日とも午前

●場所 県庁一階および県庁前駐車場、勾当台

この二日間

この二日間

労使間の紛争

労使間の紛争

県[労働相談]

解決

**地方労働委員会
[あっせん]**

**他の相談窓口、
関係機関の
紹介**

解雇や賃金不払いなどお悩みはありませんか？
 県では、随時、労働相談を受け付けていますが、
 十月一日から労働者個人と使用者との間で生じた労働関係に関する紛争のあつせん制度を地方労働委員会で新たに始めます。

あつせん制度とは、労働問題に経験豊かな三人

のあつせん員が、労使双方から話を伺い、当事者間の自主的な解決を支援する制度です。

費用は無料で、秘密は厳守しますの

にご利用ください。また紛争の内容によってはあ
せんを行わないこともありますので、ご利用にあ

たちの詳細については、お問い合わせください。

宮城県知事 行 FAX 022 (263) 3780 Eメールもご利用ください。tegami@pref.miyagi.jp

わたしの提案

について

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

(差出人)			
ご住所 〒		お名前(フリガナ)	
年代 性別 男・女 歳代		☎ () お手紙の要旨を「県民の想いデータベース」(裏面参照)として、インターネットで県民の皆さんにご紹介させていただく場合があります。その場合、お名前は伏せますが、年代・性別・居住市町村名は掲載されます。下のどちらかを○で囲んでください。 「県民の想いデータベース」に 掲載してもよい・掲載不可	
ご職業			

▷お問い合わせ 宮城県総務部広報課 ☎022(211)2285

仙台高等技術専門学校 学生募集

講習名＝介護サービス科（ホームヘルパー２級取得）
場所＝仙台高等技術専門学校幸町校舎
訓練期間＝10月23日(水)～12月18日(水)
定員＝20人
申し込み＝10月11日(金)までに（消印有効）、往復はがきに住所、氏名、生年月日、電話番号を、返信用には住所、氏名を記入し仙台高等技術専門学校へ（抽選）
受講料＝無料（教科書代別途）
■仙台高等技術専門学校
〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-4-1
☎022(258)1151

オータム・ フェスティバル開催

内容＝①森林教室②木工教室③ブナ林観察会・野生キノコ鑑定会
期日＝①②10月26日(土)③11月2日(土)
場所＝①花山村こもれびの森（仙台駅集合）②花山村森林科学館（現地集合）③花山村森林科学館等（現地集合）
定員＝①50人（抽選）③小学5年生以上の方40人（抽選）
その他＝すべてのコースとも参加費無料。昼食は各自持参
申し込み＝10月15日(火)までに、栗駒高原森林組合 ☎0228(45)3311または築館産業振興事務所林業振興班 ☎0228(22)2111（内線423）へ（②は事前申し込み不要）

屋外広告物講習会 開催

屋外広告業を営む場合、営業所ごとに講習会修了者を置くことが義務づけられています。
期日＝10月30日(水)、31日(木)
場所＝仙台市役所本庁舎8階
内容＝関係法令、施工方法他
申し込み＝10月11日(金)までに県公園緑地室 ☎022(211)3138へ

国際交流フェスタ2002 世界の文化を楽しもう

対象＝県内在住の方200人
期日＝11月9日(土)～10日(日)
場所＝県仙台青年の家

内容＝国際交流パーティー、フォーラム、創作活動、音楽など
定員＝200人（宿泊定員60人）
参加費＝1人4,000円
申し込み＝10月26日(土)までに仙台青年の家 ☎022(256)3949へ（日帰り参加の方はご相談下さい）

みやぎ県民大学 生涯学習支援者 養成講座入門編

対象＝生涯学習支援のため活動できる県内在住の20歳以上の方30人程度
期間＝平成15年1月15日～2月19日の毎週水曜日（全6回）
場所＝生涯学習セミナールーム
申し込み＝10月15日(火)～31日(木)に県生涯学習課 ☎022(211)3652へ（先着順）

海釣りのつどい 参加者募集

期日＝10月26日(土)～27日(日)
場所＝松島野外活動センター
対象＝小学校4年生以上とその親および釣り愛好者70人
内容＝船釣り、釣り情報等
参加費＝1人8,000円
申し込み＝10月1日(火)から松島野外活動センター ☎0225(88)2337へ（先着順）

第1回海の味覚を探る 参加者募集

期日＝11月9日(土)～10日(日)
場所＝青年の家、志津川湾
対象＝親子50人
内容＝イカのくんせいづくり、カキ・ホタテむき体験等
参加費＝①親…3,200円②子…2,600円
申し込み＝10月8日(火)～22日(火)に志津川海洋青年の家 ☎0226(46)9044へ（先着順）



芸術銀河2002 「みやぎ発信劇場」

【気仙沼演劇塾「うを座」のミュージカル「鳥の物語」】
日時＝11月4日(月・振替休日)午後3時開演
場所＝宮城県民会館

チケット＝全席自由3,000円（当日3,500円）
（三越、藤崎、県民会館他で販売）
■実行委員会事務局（県生活・文化課）
☎022(211)2527

「育て上げ」ネット 東北地区フォーラム開催

フリーターやひきこもりが増加する中、新しい形の若者の就労支援体制について、NPO、企業、医療、行政等の関係者がパネルディスカッションを行います。（入場無料）
日時＝10月26日(土)午後1時30分～午後5時
場所＝県美術館講堂
■県青少年課
☎022(211)2558

薬と健康のつどい開催

期日＝10月17日(木)、18日(金)
場所＝エル・パーク仙台（141ビル）セミナーホール
内容＝公開講演会、お薬相談会、薬用植物展示等
■県業務課
☎022(211)2652
■(社)宮城県薬剤師会
☎022(391)1180

県児童館フォーラム 開催

内容＝「現代の子どもに欠けているものはなにか？」をテーマに子どもたちの生きる力を育む健全育成についての富田博氏の講演、児童館での実践発表など
日時＝10月8日(火)午前10時～午後3時（入場無料）
場所＝登米町立公民館
※どなたでも参加できます。
■子ども総合センター
☎022(224)1530

10月は「住宅月間」

内容＝①講演「地震から我が家を守る方法」（東北工業大学教授 田中礼治）、「簡単にできる我が家の耐震診断」②建築士による無料住宅相談会および簡易耐震診断
日時＝10月12日(土)①午後1時～午後3時②午前10時～午後4時
場所＝東北歴史博物館
申し込み＝①(財)県建築住宅センター ☎022(265)3605へ（②は申し込み不要）

■県住宅課
☎022(211)3256

人権・権利擁護 セミナー開催

日時＝11月5日(火)午後1時
場所＝仙台市青年文化センター
内容＝①基調講演（大阪大学教授 大熊由紀子氏）②パネルディスカッション（知事浅野史郎ほか）
※どなたでも参加できます。
申し込み＝総合福祉センター ☎022(224)1584へ

大崎地区休日の 骨髓バンク登録

平日に骨髓提供希望登録ができない方のため、休日の登録会を行います。（事前予約要）
期日＝10月20日(日)
場所＝大崎保健福祉事務所
申し込み＝10月18日(金)までに大崎保健福祉事務所 ☎0229(91)0714へ

みやぎ新規大卒等 就職面接会開催

平成15年3月大学等卒業予定者と県内企業とが一堂に会する合同面接会を開催します。（既卒者も参加できます）
日時＝10月11日(金)午後1時～
場所＝仙台サンプラザホール
■県労政・雇用対策課
☎022(211)2772

第19回伝統的工芸品 月間国民会議東北大会

日時＝10月18日(金)～23日(水)午前10時～午後7時30分（最終日は午後4時まで）
場所＝藤崎百貨店本館7階
内容＝東北の伝統的工芸品の展示・即売、体験教室等
■県地域産業振興課
☎022(211)2724

河川フォーラム開催

入場無料で、どなたでも参加できます。
内容＝①講演「東北水防団の歴史」（講師：関東学院大学教授 宮村忠氏）②講座「水防と治水」「川の学校」（宮村教授による、参加者と「をんな川会議」メンバー（4人）を生徒に見立てた授業形式の模擬講座）
日時＝11月1日(金)午後3時15分

～午後4時30分
場所＝パレスへいあん「グレース」（仙台市青葉区本町1-2-2）
■県河川課
☎022(211)3171

第9回宮城県高等学校 総合文化祭開催

日時＝10月18日(金)午後0時45分～
場所＝宮城県民会館
内容＝①美術、書道等の展示②音楽、演劇、放送等のステージ発表③将棋、囲碁等の演示
■県高等学校文化連盟事務局（宮城野高等学校）
☎022(254)7211

仙南地区 身体拘束移動相談

日時＝10月10日(木)午前10時～午後0時半
場所＝大河原合同庁舎102会議室（大河原町字南129-1）
対象者＝介護保険利用者（家族）および介護保険施設職員等
内容＝①身体拘束廃止取組状況・困難事例等の情報交換②身体拘束廃止に関する相談
※移動相談のほか窓口相談も実施（随時受付中）

県の施設の催しガイド	
カルチャークラブ	
美術館、東北歴史博物館の小・中学生、高校生の常設展観覧料は無料です。	
宮城県図書館	☎022(377)8441
■生涯学習推進講演会「白神山地の過去・現在・未来」 ■講 師 盛岡大学短期大学部教授 齋藤宗勝氏 ■日 時 10月13日(日)午後1時30分 ■定 員 先着100人（申し込み要・無料） ■申し込み 県図書館企画協力班 ☎022(377)8444へ 【今月の休館日】 4日(金)（館内整理日）、月曜日（7日、21日、28日）15日(火)（振替休館日）	
宮城県美術館	☎022(221)2111
■特別展 「版画家 池田満寿夫の世界展－黒田コレクションから－」 ■期 間 11月4日(月)まで ■観覧料 一般900円、大学・高校生700円、小・中学生400円 【今月の休館日】 月曜日（7日、21日、28日）	
東北歴史博物館	☎022(368)0101
■特別展 「飛鳥・藤原京展」 ■期 間 10月11日(金)～12月1日(日) ■観覧料 一般・大学生1,000円、高校生700円、小・中学生500円 【今月の休館日】 月曜日（7日、21日、28日）	
県民ロビーコンサート	■県生活・文化課 ☎022(211)2527
■日 時 10月23日(水)午後0時15分～45分 ■場 所 県庁1階県民ロビー ■出 演 Sol de Misiones（ソル デ ミシオネス） ■曲 目 コンドルは飛んで行く、アマポーラ、川の流れるように ほか	

■県敬風園
☎0229(56)9605

相談

中小企業 「経営の出前相談」

「資金繰りを改善したい」「売上を伸ばしたい」など、中小企業が抱える経営上の課題の整理、克服のお手伝いをします。また、必要に応じて専門家の派遣や窓口の紹介、経営に役立つ情報の提供も行っています。お気軽にご相談ください。

■県経営金融課
☎022(211)2741

労働相談

労使関係や労働条件等の相談を随時受け付けています。特に専門的な内容は弁護士が無料で相談に応じます。（予約制）
日時・場所＝①10月11日(金)、25日(金)午後1時15分～…仙台市内
②10月18日(金)午後1時～・迫町内

申し込み＝県労政・雇用対策課
☎022(211)2771.rouko@pref.miyagi.jpへ

すこやか子育て テレホン相談

発育、しつけなどの子育てに関する相談に応じます。
日時＝祝日を除く毎週月～金曜午前10時30分～午後4時
■ダイヤル相談室（県生涯学習課内）
☎022(211)0451
FAX022(227)9148（FAXは24時間受け付け）

生涯学習相談

内容＝講座、イベント、学習グループ、施設、講師資格等の情報提供・相談
日時＝県図書館開館日午前10時～正午、午後0時45分～午後4時
場所＝県図書館生涯学習室
■県図書館生涯学習室
☎022(377)8641

犯罪被害者相談

性犯罪などによる被害のご相談を24時間体制で受けていま

す。心理カウンセラー等専門職員が、あなたの勇気にこたえます。

■県警察本部警務課「犯罪被害者対策室」

☎0120(248)620
民間ボランティア団体「犯罪被害者支援センターみやぎ」でも相談に応じています。
日時＝毎週火・土曜日午前10時～午後4時
☎022(221)7830

無料民事介入 暴力相談所開設

暴力団等でお困りの方はぜひご相談ください。（秘密厳守）
相談員＝県警察本部暴力団担当官、弁護士、(財)暴力団追放宮城県民会議相談員
日時＝①10月23日(水)午前11時～午後3時②11月12日(火)午前11時～午後3時
場所＝①古川商工会議所②岩沼市役所
■県警察本部暴力団対策課
☎022(222)8930
■(財)暴力団追放宮城県民会議
☎022(215)5050

10月 県政 テレビ＆ラジオガイド	
テレビ	
仙台放送 情報マガジンみやぎ 第3土曜日（毎月） 午後1時～1時25分	東日本放送 みやぎ情報クリップ 毎週金曜日 午後7時54分～7時57分
行政情報、県内各地の話題など県民の皆さんが知りたい情報を満載した、みやぎの今を伝える情報誌感覚の番組です。（文字スーパー付き）	
●みやぎ食べ物語 今月もおいしい話題をお届けします ●特集知っ得みやぎ 「食品の表示」 ●新世紀な人 「三女高合唱部」	
見てね みやぎ情報クリップキャラクター クリッパー	
ラジオ	
TBCラジオ 県からのお知らせ 毎週金曜日 午後3時59分～4時	コミュニティFM ラジオ3 グッドライフみやぎ 毎週月～金曜日 午後5時20分～5時24分 FMじょんぼ ハビネスみやぎ 毎週月～金曜日 午後5時15分～5時19分 魔法の泉 みやぎ情報アラカルト 毎週月～金曜日 午後5時15分～5時19分 ほえみ みやぎ情報ピックアップ 毎週月～金曜日 午後5時50分～5時54分 BAY WAVE みやぎニュースウィンド 毎週月～金曜日 午後5時50分～5時54分 ラジオ石巻 ライフネットみやぎ 毎週月～金曜日 午前10時35分～10時39分

夜間納税窓口の開設

県では、10月24日(木)に各地方県事務所、県税事務所および気仙沼地方振興センター（支所・出張所を除く）の納税窓口を午後8時まで延長して開設します。県税に関する納税相談にも応じますので、お気軽にご利用ください。

■県税務課
☎022(211)2326
気仙沼地方振興センター、各地方県事務所

10月1日～12月31日は「交通ルールを守るシルバーナイト運動」期間

例年、日没が早まる年末にかけて、夕暮れ時から夜間にかけての歩行者等の横断中の事故が多発しています。早めの点灯を心掛け、高齢歩行者や自転車利用者等を見かけたら、減速するなど優しさといったわりのある思いやり運転に努めましょう。

■県総合交通対策課
☎022(211)2438

自動車フロン券について

フロン回収破壊法の完全施行により、10月1日からカーエアコン付きの使用済自動車を廃棄する場合には、郵便局またはコンビニエンスストアで購入した自動車フロン券を添えて、知事等の登録を受けた使用済自動車の引取業者（第二種特定製品引取業者）に引き渡すことになりました。ただし、下取り後、中古自動車として流通する場合などには、自動車フロン券の購入は不要です。

■県環境政策課
☎022(211)2661

特定サービス産業実態調査にご協力を

経済産業省と宮城県により、11月1日現在で特定サービス産業実態調査が実施されます。この調査は、わが国のサービス産業活動の実態を把握し各種施策の基礎資料とするため、国の指定統計調査として実施しています。10月から県統計課職員または統計調査員がお訪ねしますので、ご協力をお願いします。

■県統計課
☎022(211)2458

原爆被爆者二世の健康診断の実施

対象＝両親のいずれか一方または両方が被爆者健康手帳を所持している(していた)方
期間＝10月中旬～11月中旬ごろの予定
場所＝公立刈田総合病院、仙台市立病院、長町病院、坂総合病院、古川市立病院、石巻赤十字病院、公立気仙沼総合病院
■県健康対策課
☎022(211)2636
各保健福祉事務所

家族で話し合おう「臓器移植」

「臓器移植法」が施行されてから5年が経過しました。現在まで全国で脳死と判定された19人から、重い疾患で苦しんでいた77人の方に臓器が提供され、健康を回復し社会復帰しています。しかし、移植が必要な方は、腎臓の1万3千人を始め、多数に上ります。家族の皆さんで話し合い「臓器移植意思表示カード」への記入、署名、携帯をお願いします。

■県業務課
☎022(211)2653
■財県腎臓協会
☎022(718)0730

10月から漁業共済制度が変わります

台風などの災害から漁業者の生活を守る「漁業共済制度」が10月1日から変わります。加入要件の緩和や漁業施設共済が新たに加わるなど、補償が充実し、加入しやすくなりました。

■県漁業共済組合
☎022(264)6888
■県団体指導検査課
☎022(211)2752

無利子の設備資金貸付制度

従業員数20人（商業・サービス業は5人）以下の小規模企業者等の創業や経営基盤の強化に必要な設備（土地および建物を除く）資金の貸し付けを長期無利子で行っています。貸付限度額・償還期間は、設備の設置に要する費用の2分の1以内、4,000万円以下で、7年以内（1年据え置き、半年賦償還）です。
■財みやぎ産業振興機構
☎022(225)6636
■県経営金融課
☎022(211)2743

「仙台～函館線」運航再開

仙台空港では、11月1日より北海道エアシステムによる「仙台～函館線」が、昨年に引き続き1日1往復で運航されます。これにより、仙台～函館線は、4月～10月末はエア・ニッポンによる運航、11月～3月は北海道エアシステムによる運航と通年運航されることとなります。道南地域へのお出かけの際は、

ぜひご利用下さい。
■県空港対策課
☎022(211)2432

10月11日～20日は全国地域安全運動期間

この期間は、県内各地で防犯パトロールや安全点検活動等が展開されます。地域ぐるみの自主的な活動にご参加、ご協力ください。
運動重点＝①「安全・安心まちづくり活動」の推進②身近な犯罪の防止③少年の非行防止④薬物乱用防止
■県警察本部生活安全企画課
☎022(221)7171（内線3028）

資格・試験

県農業短期大学推薦・社会人学生募集

募集人員＝①学校長推薦…農業、園芸、畜産、農業土木各12人②自己推薦…農業12人、園芸、畜産、農業土木各8人③社会人…各学科若干名

出願資格＝①平成15年3月に県内高校等を卒業見込みで学習成績概評平均が3.0以上の方②高校卒業者または平成15年3月に高校等を卒業見込みの方③高校等卒業後3年以上社会人の経験がある方

試験日＝①11月13日(水)②12月3日(火)③12月3日(火)
試験会場＝県農業短期大学
※願書受け付け等、お問い合わせください。

■県農業短期大学事務局
☎022(245)2211（内線229）

点字県政だよりをお届けします。視覚に障害がある方のために点字またはカセットテープによる県政だよりをお届けします。 **■財宮城県視覚障害者福祉協会 ☎(022)257-2022**

宮城障害者職業能力開発校学生募集

科名＝【1年コース】①コンピュータ制御②服飾ビジネス③プリントメディア④OAビジネス⑤商業デザイン【2年コース】①福祉機器②情報処理
試験日＝11月29日(金)
願書受付＝11月5日(火)まで
※応募資格等があります。

■宮城障害者職業能力開発校
☎022(233)3124

宮城大学学生募集（特別選抜）

対象＝①帰国子女（各学部若干名）②社会人（事業計画学科5人、デザイン情報学科…若干名）
出願期間＝11月1日(金)～8日(金)
試験日＝11月27日(水)
募集要項＝角形2号の返信用封筒に270円分の切手を貼り、住所、氏名、郵便番号を記入し、封筒の表に「特別選抜学生募集要項請求」と朱書きし、宮城大学学生班へ

■宮城大学学生班
〒981-3298 大和町学苑1番
☎022(377)8333

平成15年度県立高等技術専門学校学生募集

科名＝【1年コース】①OAビジネス②精密機械加工③電気④建築製図⑤広告美術⑥インテリアサービス⑦設備工事⑧ファッションビジネス⑨建築⑩OA事務
【2年コース】①自動車整備②電子制御システム③情報通信技術④情報処理

応募資格＝高等学校卒業（見込みを含む）以上の学力を有する方
試験日＝11月1日(金)
試験科目＝国語（国語Ⅰの現代文分野）、数学（数Ⅰまで）、面接
願書受付＝10月16日(水)まで
■県産業人材育成課
☎022(211)2762

県農業実践大学校学生募集

募集人員＝①農産・園芸学部各20人②畜産・経営開発学部各15人
【一般入校】
資格＝高校を卒業（見込みを含む）した方またはこれと同等以上の学力があると認められた方
試験日＝平成15年2月21日(金)
願書受付＝平成15年1月23日(水)

～2月6日(水)（消印有効）
【学校長・市町村長推薦入校】
資格＝高等学校を卒業見込みで学校長が推薦した方または高等学校卒業後3年以内で市町村長が推薦した方
試験日＝12月6日(金)
願書受付＝11月2日(火)～26日(水)（消印有効）
■県農業実践大学校
☎022(383)8138

砂利採取業務主任者試験

日時＝11月8日(金)午前10時～正午
場所＝県庁17階1702会議室
受付期間＝10月17日(水)～31日(水)（消印有効）
願書＝県産業立地推進課、各産業振興事務所、気仙沼地方振興センターで配布
■県産業立地推進課
☎022(211)2731

平成14年度後期技能検定試験

受付期間＝10月1日(火)～11日(金)
実施期間＝11月29日(金)～平成15年2月23日(日)
実施職種＝①特級…金属熱処理、放電加工等22職種②1級・2級…さく井、工場板金等32職種③3級…機械検査、プラスチック成形④単一等級…樹脂接着剤注入施工、バルコニー施工
■県職業能力開発協会
☎022(271)9917
■県産業人材育成課
☎022(211)2763

募集

「走る県政教室」参加者募集

対象＝県内在住の20歳以上の方（1～3人の小グループ）で宮城県に居住して5年未満の方43人
日時＝11月10日(日)午前9時～
コース＝「これからの生涯学習」（青少年の森、東北歴史博物館、公文書館・NPOプラザ）
申し込み＝10月18日(金)までに（消印有効）、往復はがきの往信面に①参加希望者全員の住所、氏名、年齢、居住年数②申込者（代表者）の電話番号を、返信面に申込者（代表者）のあて先を記

入し、県広報課（〒980-8570住所不要）へ（抽選）
■県広報課
☎022(211)2285

宮城いきいき学園生募集（平成15年4月入学生）

対象＝県内のおおむね60歳以上で継続して通学可能な方
場所＝①仙南校…グリーンピア岩沼②大崎校…大崎生涯学習センター③石巻校…矢本町コミュニティセンター④気仙沼・本吉校…気仙沼中央公民館⑤登米・栗原校…迫町中央公民館
募集人員＝各校40人
学習日＝平成15年4月から月2回で年間22回（2学年制）
募集期間＝11月1日(金)～12月28日(土)
申込書＝各市町村福祉担当課・教育委員会生涯学習担当課、県長寿社会政策課、宮城いきいき財団で配布
申し込み＝財宮城いきいき財団へ
■宮城いきいき財団
☎022(219)1171
■県長寿社会政策課
☎022(211)2536

原子力の日記念講演会・原子力センター等見学会参加者募集

日時＝10月30日(水)午前8時30分
県庁前集合
定員＝50人
見学地＝宮城県原子力センター（女川町）他
参加費＝無料（昼食持参）
申し込み＝10月18日(金)までに（消印有効）、往復はがきに希望コース、住所、氏名、生年月日、電話番号、職業（勤務先）、受講を希望する理由を記入し、白石高等技術専門学校へ（抽選）
■県原子力安全対策室
☎022(211)2607

「バリアフリー私はどう考える」作文募集

対象＝塩竈・名取・多賀城・岩沼市、亘理・宮城・黒川郡に在住または通学する小学5年生～高校生
課題＝バリアフリーをテーマにしたものであれば自由
規格＝①小学生の部…600～800字程度②中・高校生の部…1000～1200字程度
入賞＝賞状、副賞（図書券3万

円～5千円）、記念品
締め切り＝11月20日(水)（消印有効）
申し込み＝仙台保健福祉事務所へ郵送
■仙台保健福祉事務所
〒981-0914 仙台市青葉区堤通
雨宮町4-17
☎022(275)9132

世代間ふれあい交流スポーツ大会参加者募集

日時＝11月4日(月・振替休日)
場所＝加瀬沼公園（利府町）
募集＝①ベタンク…120人（3人1組）②グラウンド・ゴルフ…432人
参加資格＝世代間の部…児童・生徒・学生を1人以上含める。一般の部…どなたでも
申込締切＝10月11日(金)（消印有効）
参加費＝無料（先着順）
■宮城いきいき財団
☎022(219)1171
■県長寿社会政策課
☎022(211)2536

在職者・求職者向け技術講習会

コース＝①工事担任者デジタル第3種受験（直前対策）②HTMLによるホームページ作成③ネットワーク技術（TCP/IP通信）
期日＝①11月9日(土)～10日(日)②11月16日(土)～17日(日)③11月30日(土)～12月1日(日)
場所＝白石高等技術専門学校
受講料＝無料（テキスト代別途）
申し込み＝10月18日(金)までに（消印有効）、往復はがきに希望コース、住所、氏名、生年月日、電話番号、職業（勤務先）、受講を希望する理由を記入し、白石高等技術専門学校へ（抽選）
■白石高等技術専門学校
〒989-1102 白石市白川津田字新寺前5-1
☎0224(35)1511

住宅用太陽熱高度利用システム導入への補助制度

対象＝住宅に太陽熱高度利用システムを導入しようとする方
募集期限＝平成15年1月31日(金)
資料請求＝財エネルギー財団
☎03(5275)9566へ
■県企画総務課
☎022(211)2415

編集後記 新シリーズ「こども県政だより」はいかがでしたか。これから、ナンダロウとハテナが、そぼくな疑問を解決するために大活躍します。どうぞ、お楽しみに。また、読者の皆さんから「こんな疑問を調べてほしい」というご意見もお待ちしております。

Y 昭和45年に生まれた「みやぎ県政だより」でこれまでの30年間の県政をたどってみました。そこに、時代は変わっても、変わらない「テーマ」を見たような気がします。「過去の30年」。自分で思い描ける「未来」も30年ぐらいでしょうか。

ナ 今回の記事の取材で、鶯沢工業高校に行きました。記事の内容のとおり地元の方々との交流が盛んで、自分が高校生の時はどうだったかと考えてみるとあまりなく、うらやましく感じました。

表紙写真 | 「はたらく人」ガントリーオペレーター



表紙の写真は、仙台港高砂コンテナターミナルで、コンテナの積み下ろしをするガントリークレーンの作業風景です。運転席の高さは、地上40m。現在仙台港には、北米、中国、韓国、東南アジアとのコンテナ定期航路が就航しており、世界60ヶ国と取引が行われています。今年2月には、ガントリークレーン3号機も運用を開始し、取扱貨物量も前年比32.5%と順調に伸びています。

みやぎの人口	県推計人口	男	女	住民基本台帳に基づく世帯数	外国人登録人口
平成14年8月1日現在	2,369,100人	1,157,687人	1,211,413人	849,696世帯	15,157人

※県推計人口／国勢調査人口を基礎とした総人口※世帯数は、住民基本台帳に基づく平成14年7月末現在の世帯数